



千地申第7号

## 「2022年3月ダイヤ改正等について」に関する緊急申し入れ その①

### 《要求項目》

1. 「成田エクスプレス・しおさい・さざなみ・わかしお」の利便性・着席サービス・指定席拡大・特別企画乗車券の販売終了が、お客さまへのサービス品質の向上になるのか具体的に明らかにすること。また、えきねっとがSuicaと紐づけられていないことや、事前購入料金と車内料金の発売料金に差がない根拠を明らかにすること。
2. 成田～佐原間のワンマン運転実施によって、安全・サービスレベルがどのように向上するのか明らかにすること。
3. 乗務員の準備時間の見直しについて、変更点を具体的に明らかにすること。
4. 休日勤務の対応が発生しているため、妊婦を1人工にカウントしないこと。
5. 今後の業務量の示し方について納得感が得られないため、改めて要員数と出面数の関係を整合性があるように示すこと。
6. 特別企画乗車券の廃止に伴って、自由席の販売が増加することが予想され、これまでの乗務員の乗り込みと駅の販売体制の整合性がつかないため、「えきねっとトクだ値(チケットレス特急券)」と同時に、房総特急回数券の自由席用を継続して使えるようにすること。また、トラブルや徒列対応も想定されることから、実施した場合に案内係を配置すること。
7. 「成田エクスプレス」の千葉駅停車拡大については、ホーム担当社員や車掌の負担軽減、事前購入の懇話の観点から、千葉駅の販売体制を強化すると共に、お客さまにえきねっとを利用していただけるような取り組みを実施すること。また、千葉から新宿間の「成田エクスプレス」の特急券をえきねっとで購入する際、経由駅を入力しないと列車が表示されないなど、操作が複雑なため、検索方法を見直すこと。
8. 「成田エクスプレス」については、お客さまの誤乗防止と利便性向上や乗務員の予防安全と駅での誤乗対応防止の観点から、千葉駅を停車する列車は統一的な停車駅にすること。

その②へ



## 千地申第7号

# 「2022年3月ダイヤ改正等について」に関する緊急申し入れ その②

9. 成田～佐原間の一部列車でワンマン運転が開始されることから、単にワンマン列車が延長になるような教育ではなく、踏切のある駅間が増えることなど、想定される不安を払拭できるような教育・訓練を実施すること。また、各箇所での教育・訓練も不安がなくなるまで実施すること。
10. E131系のホロを固定している左右のピンについて、編成番号R01, 02, 05編成が非常に固く、ホロ付け作業に支障がでるため改良を行うと共に、定期的に注油等を行うこと。
11. 3150Mの併合については、木更津駅中1番線で行う場合、列車遅延や併合時のトラブルにより後続列車に遅延が発生するため、電留線にて併合を行うこと。また、3150Mの併合から1131Mの車内貫通までの列車間合いが僅少のため、併合作業の時間確保のため、間合いを拡大すること。
12. E131系における運転時分については、館山～九重間の5分30秒運転や、和田浦～江見間の4分15秒運転のように、運転時分内に運転することが厳しい区間もあることから余裕を持った運転時分とすること。また、館山駅や安房鴨川駅などの乗継ぎ交代のある駅の停車時間は、最低2分以上とすること。
13. E131系の運転において、降雨・降雪時や朝露、霜によって空転や滑走が多く発生し、運転に支障をきたしていることから対策を行うこと。また、車外カメラやモニター故障、ホーム検知装置の誤作動などの多くの不具合が発生しているため、原因を究明し対策を行うことと共に、対策を行ったものについては、職場への共有を早急に行うこと。
14. ダイヤ改正実施後は労使が十分に検証を行い、問題や議論経過に変更が生じた場合は、労使間の合意形成を図るために真摯な議論を行うこと。

以上